

請求の範囲

- [請求項1] 処方度数がゼロ以下であり、
物体側の面の側および眼球側の面の側の少なくともいずれかに対し、可視光中の短波長側にブレイズ波長が設定された回折構造が設けられ、
正の縦色収差を有する、眼科用レンズ。
- [請求項2] 設定された主波長よりも長波長の光を減衰させる波長フィルターを備える、請求項1に記載の眼科用レンズ。
- [請求項3] 前記回折構造がもたらす度数 D_D は以下の関係を満足する、請求項1または2に記載の眼科用レンズ。
$$D_D < D \times \nu_D / (\nu_D - \nu)$$

 D は処方度数、 ν_D は回折構造がもたらすアッペ数、 ν はレンズ基材のアッペ数を表す。
- [請求項4] 前記ブレイズ波長は477nmよりも大きく且つ535nm未満である、請求項1～3のいずれかに記載の眼科用レンズ。
- [請求項5] 前記回折構造がもたらす度数 D_D は、処方度数 D の15%以上である、請求項1～4のいずれかに記載の眼科用レンズ。
- [請求項6] 前記回折構造がもたらす度数 D_D は、処方度数 D の50%未満である、請求項1～5のいずれかに記載の眼科用レンズ。
- [請求項7] 前記眼科用レンズは眼鏡レンズである、請求項1～6のいずれかに記載の眼科用レンズ。